

世界遺産「法隆寺」参道に宿泊施設



門前宿「和空法隆寺」外観イメージ

文化体験型の門前宿「和空法隆寺」

2019年春オープン予定

当事業は、神社やお寺の参拝者のための宿泊施設を創設する事業「宿坊創生プロジェクト」の一環として、(株)和空プロジェクトと積水ハウス(株)が業務提携して推進する事業で、積水ハウス(株)が建物の設計・施工を担い、(株)和空プロジェクトが管理運営を行います。

日本を代表する世界遺産法隆寺の参道にふさわしい落ち着いた空間「和空法隆寺」では、法隆寺への参拝や斑鳩町周辺の観光の足がかりとなることはもちろん、施

設内でもさまざまな日本文化を体験することができます。茶道・華道・香道をはじめ、能や雅楽、講談ほか各種の本格的な文化体験アクティビティをご用意させていただく予定です。

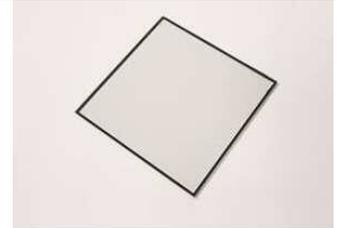
情報提供: 積水ハウス

プラズマディスプレイパネルの技術を応用した独自の真空断熱ガラスを開発

パナソニック株式会社 エコソリューションズ社は、パナソニックが従来保有していたプラズマディスプレイパネル(以下、PDP)の開発・製造技術を応用することで、約6mmの薄さで業界最高クラスの断熱性能を有する真空断熱ガラスの開発および量産化に成功しました。

総厚約6mmのガラスとしては業界最高クラスの断熱性能である熱貫流率0.7(W/m²・K)を実現し、総厚約3cmのアルゴンガス入りトリプルガラスと同等以上の断熱性能です。

今回、当社は真空層内で発生するガスを吸着する薄型のガス吸着剤や、2枚のガラス間に0.1mm程度の隙間を形成する低熱伝導性材料などを新開発することで、優れた断熱性能を持つ真空断熱ガラスを実用化しました。さらに独自の工法により、ガラス表面には真空空間を形成する際に必要な排気孔の封止部がありません。これによって、フラットですっきりとした製品外観を実現しています。また、有害物質として規制されている鉛を一切使用していないため、環境面・安全面でも安心して使えます。



【真空断熱ガラス】



【真空断熱ガラス(アップ)】

情報提供: パナソニックエコソリューションズ

住宅用太陽光「みなし認定手続き」完了は半数に満たず グッドフェローズ調べ

みなし認定手続きは完了しましたか?



次世代エネルギー業界の発展のための調査研究及び広報活動等を行う「グッドフェローズ」は11月17日～30日にかけて、太陽光発電を検討した全国のユーザー800名を対象に「太陽光発電のみなし認定と節電意識に関するアンケート調査」を実施した。

同調査は、今年4月のFIT法改正に伴い、10kW未満太陽光発電設備について同年12月31日までに新制度への移行手続き(みなし認定手続き)として『事業計画書』の提出が求められることを受けて実施したもの。全回答者の70.9%に当たる太陽光発電を設置した人に、「みなし認定手続きは完了しましたか」と質問したところ、45%が「完了した」と回答したのに対し、10%が「まだしていない」、37%が「よくわからない」と回答しており、事業計画書の提出期限1ヶ月前となっても、みなし認定手続きへの意識が低いことが分かった。

情報提供: 新建ハウジング